

令和3年度事業報告書

令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大が年間を通じて流行の波を繰り返しながらも収束することがなく、協会事業はコロナ禍により様々な影響を受ける一年となりました。年度末には、ロシアによるウクライナ侵攻が引き金となる地政学的リスクが高まり、国際情勢は一層混迷を深め、世界経済への影響は避けられない事態となりました。また、穀物や肥料など農業や畜産業に必要な生産資材の価格高騰の影響も懸念され、国内での安定した食料や生産資材の確保は重要性を増しており、和牛の生産基盤強化と生産性向上は喫緊の課題となっています。一方で、農林水産物・食品輸出拡大実行戦略に基づく各種施策により、日本農畜産物については海外市場で需要を伸ばし、とりわけ和牛を中心とした牛肉の輸出額は過去最高を記録し、和牛が国内牛肉相場の下支えの役割を果たしましたが、各種情勢の変化が激しく、経営の先行き不透明感が増す中で、非常に厳しい状況が続いています。

さて、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の開催を翌年に控え、6月に感染予防策を施した中で発会式を盛会のうちに挙行了しました。全共参加道府県をはじめとして、関係団体からも来賓として出席をいただき、最終比較審査会へ向けて和牛界が一丸となって取り組む姿勢が示され、全共成功への機運を高めることができました。

また、登録事業については、関係機関並びに関係者のご尽力により、基本本原登録頭数82,445頭（前年対比104.5%）と前年より3,532頭増え、12年ぶりに新規登録頭数が8万頭を越えました。また、高等登録頭数については1,581頭と前年対比98.2%と前年をわずかに下回りましたが、子牛登記頭数については514,033頭（前年対比100.9%）と微増となり、引き続き50万頭以上を維持することができました。このような中で、登録事務の効率化を図り、システムの汎用性を高めるため、新しく支部端末システムを構築し、併せて協会事務局における登録基幹システムのリプレースにも取り組みました。

育種改良事業については、新しく十勝和牛育種組合の設立が承認され、全国で36育種組合となりました。さらに育種組合現地検討会では、育種組合内で造成された新規種雄牛の産子調査や、遺伝的多様性確保のための取り組みの一環として、SNP情報を活用したストラクチャー分析によってグルーピングされた調査牛の特色を確認し、系統再構築の理解を深め、交配指針や保留対象牛の考え方の整理を行うことができました。また、現場後代検定合同調査会については、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会肉牛の部会場において開催し、産肉能力の改良成果を共有することができ、改めて脂肪の量から質への改良の方向性など新たな和牛肉の価値観醸成の必要性を確認しました。なお、その他、繁殖能力の高い種畜の効率的な選抜手法の検討や飼料利用性に関する評価指標の検討並びに牛肉の食味性形質の客観的評価法の検討等、生産性向上と遺伝的多様性確保につながる公募事業にも取り組みました。一方、遺伝的能力評価におけるゲノミック評価については、各県と共同で調査検討を行い、ゲノム育種価の安定性に関する検証結果について情報発信に努めました。また、全国で繁殖成績優秀な和牛改良組合を20組合表彰し、効率的な和牛生産の振興を図りました。なお、ブロック別の改良組合育成強化

研修会や女性部研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせざるを得ませんでした。

さて、和牛遺伝資源の不正な流通を防止し、知的財産としての保護を目的とした「家畜改良増殖法の一部を改正する法律」及び「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律」が施行され、1年以上が経過しました。授精に関する各種証明書等については適正に管理保管する必要があることから、改めて会員への周知を図るとともに、関連する事項について、子牛登記取扱方法の一部改正を行いました。農林水産省をはじめとして優良和牛遺伝子保留中央協議会や和牛遺伝資源国内活用協議会とも連携をとり、和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護の重要性について理解を深めました。

技術者等養成研修事業については、感染拡大防止対策をとりながら、認定講習会や和牛入門ゼミナールを開催しましたが、ブロック別地方審査委員会については、中止または審査研究のみの開催となりました。

運営管理の部については、会員数は43,689名（前年対比96.1%）で前年より1,784名の減となり、高齢化並びに担い手不足による会員の減少は引き続き進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。また、担い手育成の一環として、第12回全国和牛能力共進会特別区にも関心のある農業高校生等を対象とした研修会にも協力しました。この他の事業については、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により可能な限り実施に努めてきました。

I. 事業の部

1. 登録・検定事業

1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計 84,026 頭（前年度比 104.4%）、前年度実績比 3,503 頭の増加でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	47,401	34,927	1,581	83,909 (104.3)
褐毛和種	93	16	—	109 (110.1)
無角和種	8	—	—	8 (88.9)
計 (前年度比)	47,502 (103.0)	34,943 (106.6)	1,581 (98.2)	84,026 (104.4)
前年度実績	46,126	32,787	1,610	80,053

子牛登記頭数は 514,033 頭（前年度比 100.9%）で、前年度実績比 4,480 頭の増加でした。また、血統証明書発行件数は 4,182 件（前年度比 114.7%）でした。

2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	(0.0%)
産肉能力検定 直接法	96 件	88 件	(109.1%)
" 間接法	0 件	0 件	(0.0%)
現場後代検定法	103 件	98 件	(105.1%)
遺伝子型調査	77,095 件	76,118 件	(101.3%)
" (再交付)	1,740 件	1,873 件	(92.9%)
" (不良形質)	597 件	570 件	(104.7%)

3) 現場後代検定合同調査会の開催について

各道府県における特徴ある種雄牛造成の推進及び若い種雄牛の発掘を目的に、令和4年2月24日～25日の間、鹿児島県鹿児島市及び南九州市知覧町において現場後代検定合同調査会を開催しました。10道県から11頭の種雄牛の後代33頭（去勢26頭、雌7頭）が出品されました。また、シンポジウムでは、「新たな牛肉の価値観の構築に向けて」というテーマを掲げて開催しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会にも必要に応じて助成並びに指導を行いました。

4) モニタリング調査の実施について

国の畜産生産力・生産体制強化対策事業「和牛の信頼確保対策」を実施し、各道府県支部・委託団体の協力のもと遺伝子型による親子判定のモニタリング調査を行いました。

2. 育種改良事業

1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。育種牛認定頭数は雄33頭、雌584頭（新規347頭、再認定164頭）となりました。

十勝(12/6)、秋田県(10/26)、淡路(12/20)、美方郡(3/14)、城崎(3/15)、鳥取県(3/30)、玖珠(3/8)、宮崎市(11/15)、東諸県郡(11/15)、南那珂(11/16)、西諸県郡市(11/17)、都城(11/18)

2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は440組合となりました。効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮への取り組みが重要となっています。これらの取り組みが改良組合の活動強化と改良組織の育成強化、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

(1) 和牛改良組合育成強化研修会・和牛改良組合女性部研修会の開催

本研修会については、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の活動の活性化、個々の農業経営強化とともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

(2) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計 16 回の開催助成と講師の派遣を行いました。

(3) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部 15 組合、分娩間隔・飼養管理技術の部 5 組合が表彰されました。

3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。産肉能力については、支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業について取り組み、育種価評価事業に活用しました。また、脂肪の質にかかわる育種価評価についても各道府県との連携のもと実施し、情報提供を行いました。種牛能力については、子牛登記証明書備考欄への母牛の分娩間隔の育種価指標表示を実施し、種牛能力の改良に係わる情報の活用を推進しました。

牛肉の美味しさに関する調査については、「和牛肉の新価値観構築事業」等を利用して、牛肉の一般成分や脂肪交雑の形状等のデータ収集を行うとともに、和牛肉の新たな客観的評価手法の検討を進めました。

ゲノミック評価については、各道府県と協力し、枝肉形質における多角的な精度の検証を行うとともに、飼料の利用性や食味性に関わる形質についても評価手法の検証作業を進めました。また、SNP 情報を用いた遺伝的多様性の検討や経済形質にかかわる育種・改良方法の検討を行うために和牛DNAデータベースの構築に努めました。

なお、本年度は産肉情報入力 0 件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報 77,541 件）、情報解析（年間）14 件、情報解析（1 回）45 件でした。

4) 優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会との連携を強化し、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。また、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動にも協力し、和牛遺伝資源の重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会	令和3年4月16日～23日(※書面開催)
育種推進委員会	令和3年6月24日(※書面開催)
産肉能力検定委員会	令和4年1月28日(※書面開催)
産肉能力検定小委員会	令和3年5月7日、令和3年10月5日
和牛改良組合強化委員会	令和4年1月27日

3. 技術者等養成研修事業

1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり6会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第216回	7/19～7/21	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	21名
第217回	9/29～10/1	北海道上川郡新得町 北海道立総合研究機構畜産試験場	22名
第218回	10/20～10/22	青森県上北郡七戸町 青森県家畜市場	28名
第219回	11/8～11/10	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	22名
第220回	12/22～12/24	熊本県天草市佐伊津町 天草家畜市場	25名
第221回	3/17～3/19	宮崎県宮崎市 宮崎中央家畜市場	16名

2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第20回	4/20～4/22	兵庫県加西市 神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター	28名
第21回	12/14～12/16		31名

3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期 間	会 場	受講者数
東日本	10/26～10/29	福島県西白河郡 独立行政法人家畜改良センター中央畜産研修施設	19名
西日本	11/14～11/17	広島県三次市 全農広島県本部三次家畜市場	29名

改良の基礎研修

講義の部	期 間	会 場	受講者数
全 体	7/12～7/13	京都府京都市 ハートンホテル京都	55名

4) 支部・支所職員事務研修会の開催について

7月5日（出席14名、WEB参加21道府県）

登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。

5) 第20回和牛育種・改良問題公開セミナーの開催について

令和4年1月7日（出席19名、WEB参加93名）

育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象としてDNA情報の活用及び脂肪酸の育種価評価に関わる調査報告を行いました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議 令和3年12月10日（第75回）

登録協議会 令和4年1月27日（第75回）

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、ブロック毎の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。なお、中部ブロック、中四国ブロックにおいては、審査研究のみ行いました。

ブロック	期 日	会 場	参加者数
中部地区	11/1	岐阜県高山市	59名
中四国地区	10/14	兵庫県淡路市	60名

4. 普及啓発事業

1) 第12回全国和牛能力共進会について

6月25日京都府京都市において第12回全国和牛能力共進会第1回役員会を、同日、来賓・関係者70名の出席のもと発会式を開催しました。また、全国連絡議会(1月27日)を開催し、出品牛の申し込みや現地審査要領、輸送・衛生対策など、最終比較審査に向けた協議が行われました。

2) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

3) 高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会について

公益社団法人中央畜産会の「多様な担い手育成事業」を活用し、高校及び農業大学校を対象とした研修会等の支援を実施したほか、各県単位で取り組まれる家畜審査競技会に対して支援を行いました。

4) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認システムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に協力しました。

5) 各種刊行物

- (1) 登録簿 8巻（基本5巻、本原3巻）
 ※電子媒体（DVD）にて発行
- (2) 和牛誌 4冊（72巻1号～4号）
- (3) 和牛だより 1回（第51号）
- (4) 和牛産肉能力検定報告書
 （令和2年度直接法、令和2年度承認分現場後代検定法）
- (5) 和牛登録事務必携（令和3年度版）

5. その他

畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち家畜能力等向上強化推進事業（多様な改良情報の収集・分析等対策）を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力育種価評価に活用しました。また、国の施策に基づく「和牛の信頼確保対策」や、「地域固有系統の再構築支援対策」「肉用牛の生産性評価精度向上推進事業」、「和牛肉の新価値観構築事業」「和牛の繁殖能力の遺伝情報活用手法実証事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

II. 運営管理の部

1. 会員および賛助会員について

会員数は43,689名（前年度比96.1%）、前年度実績比1,784名減少しました。賛助会員については、中央団体12団体、地方団体43団体、個人21名でした。

2. 会議等の開催について

1) 第75回通常総会 令和3年6月25日

[報告事項]

第1号報告 令和2年度事業成績報告

第2号報告 令和3年度事業計画報告

第3号報告 令和3年度収支予算報告

[提出議案]

第1号議案 令和2年度財務諸表承認の件

第2号議案 令和3年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件

第3号議案 令和3年度役員報酬承認の件

第4号議案 理事選任の件

第5号議案 付帯決議の件

2) 理事会

第204回 令和3年6月8日（理事会の決議があったものとみなされた日）

[審議事項]

第1号議案 令和2年度事業報告について

第2号議案 令和2年度財務諸表について

第3号議案 理事の補充に伴う候補者の推薦について

第4号議案 第75回通常総会の開催について

第5号議案 第12回全国和牛能力共進会について

第6号議案 規程類の改正について

第7号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について

[報告事項]

1) 令和2年度会員並びに登録関係統計

2) 支部長の交代について

3) 令和3年度のおもな行事計画について

第205回 令和3年6月25日

[審議事項]

第1号議案 副会長理事の互選について

第2号議案 顧問について

第3号議案 令和3年度理事報酬の決定について

[報告事項]

1) 業務執行状況報告

2) 第13回全国和牛能力共進会について

3) 令和2年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について

第206回 令和3年11月26日

[審議事項]

- 第1号議案 令和3年度上半期事業実施状況について
- 第2号議案 令和4年度事業計画骨子(案)について
- 第3号議案 役員改選に伴う次期役員構成について
- 第4号議案 社員選挙について
- 第5号議案 登録証明書及び子牛登記証明書ひな形の改正について
- 第6号議案 認定和牛改良組合表彰について
- 第7号議案 特定費用準備資金について
- 第8号議案 支部内部規程の改正について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) インボイス制度と電子帳簿等保存制度への対応について
- 3) 登録基幹システム(ACOS)リプレースの進め方と今後の方向性について
- 4) 全国和牛能力共進会開催地の考え方について

第207回 令和4年3月24日

[審議事項]

- 第1号議案 令和4年度事業計画について
- 第2号議案 令和4年度収支予算について
- 第3号議案 資産取得資金について
- 第4号議案 登録業務負担金及び改良事業負担金について
- 第5号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について
- 第6号議案 役員改選に伴う役員候補者の道府県割当について
- 第7号議案 選挙管理委員の任命について
- 第8号議案 支部内部規程の改正について
- 第9号議案 事務局組織に関する諸規程並びに給与規程の改正について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 令和3年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 3) 支部長の変更について
- 4) 支部事務所の住所表記の変更について

3) 監事会 1回(6月25日)

[審議事項]

- 第1号議案 令和3年度監事報酬の決定について

4) 監査会 2回(5月30日・6月2日、11月25日)

5) 公認会計士による会計指導 3回(6月17日、9月14日、12月17日)

6) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

4. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事 (常勤)	向井 文雄	H20.8
副会長理事 (非常勤)	春田 和則	R3.6
専務理事 (常勤)	穴田 勝人	H28.7
理事 (非常勤)	秋元 勝彦	R2.6
理事 (非常勤)	後藤 元夫	R2.6
理事 (非常勤)	安齋 彰洋	R3.6
理事 (非常勤)	木内 康文	H30.6
理事 (非常勤)	渡部 幹雄	H20.7
理事 (非常勤)	川崎 裕司	H28.7
理事 (非常勤)	永山 芳宏	R1.6
理事 (非常勤)	平木場 宗一	H20.7
監事 (非常勤)	高嶺 英康	H22.7
監事 (非常勤)	渡部 俊男	R2.6

5. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平 72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森 20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地 22-1
秋田県	秋田市中通 6 丁目 7 番 9 号 畜産会館 6F
山形県	天童市長岡北 4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保 23 番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣 1836-1
石川県	金沢市古府 1 丁目 217 番地
福井県	福井市高木中央 2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良 2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田 6
京都府	京都市南区東九条西山王町 1 番地 JA 京都ビル
兵庫県	神戸市西区玉津町居住 88 番
島根県	松江市殿町 19-1 島根県農林会館別館 3F
岡山県	真庭市草加部 1810
徳島県	徳島市北佐古一番町 61-11JA 会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍 1951-1
長崎県	長崎市銭座町 3-3
熊本県	熊本市東区桜木 6-3-54 県畜産会館
大分県	大分市古国府六丁目 4 番 1 号 全農大分県本部別館 2 階
宮崎県	宮崎市広島 1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町 15 JA 鹿児島県会館 7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免 1544 JA ながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触 706 JA 壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町 938 JA ごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字跡江土手外 198 JA 宮崎中央内
南那珂	串間市大字大平 5677 JA はまゆう内
都城	都城市上川東 3-4-1 JA 都城内
西諸県	小林市大字南西方 1112 西諸県都市畜連内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原 21696-1 児湯郡都市畜連内
東臼杵	延岡市櫛津町 3060 東臼杵郡都市畜連内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井 1 番地 JA 高千穂地区内
曾於	曾於市大隅町岩川 5591-1 JA ぞお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町 17-3 大島支庁農政普及課内

6. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	神奈川県肉用牛協会	平塚市土屋1275-1 全農神奈川県本部畜産部
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル4階
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

令和 3 年度事業報告の附属明細書

令和 3 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。